教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
１０のまとまりで数えよう	小	グループ学習 高学年アシカ （算数）	

＜ねらい＞
・３０までの数を１０のまとまりを作って数えることができる。
・３０までの数の大小がわかる。
・正しく数えることができるように箱や容器を使って工夫しようとする。
・数を使う遊びを楽しむ。

学習内容	学習活動	指導上の留意点
１　はじまりのあいさつ	・「これから２時間目のグループ学習をはじめます」	
２　積み木の数ジャンケンゲーム	・児童３人と教師でジャンケンをする。教師とジャンケンをして勝ったら５個、あいこなら３個、積み木を数えて取る。	・一人１０～３０個までの積み木が取れるまで繰り返す。
	・１０個入りの箱に積み木を入れて、自分が取った積み木の数を数える。	・１０個入りの箱１つと３個で１３など１０のまとまりを作って数えるようにする。
	・取った積み木の数を書き、だれの数が一番大きいか比べる。	
３　ジュースやさんごっこ	・ジュースやさんの材料のカップ、ストロー、スプーンから何を数えたいか決める。	・カップにストローとスプーンを入れてジュースを作ることを知らせる。
	・注文の数を決め、カードに「カップ　２６こ」など自分が用意するものを書く。	
	・それぞれ自分の担当のものの数を数える。	・材料は注文の数以上の量を用意しておく。
	・カップにストロー、スプーンを組み合わせる。ジュースに見立てたカラースポンジを適量最後に入れる。	・材料が１０個ずつ入るケースを用意し、１０のまとまりを作って数えるようにする。
	・できあがったジュースの数を数え、注文の数になっているか確かめる。	・カップやストロー、スプーンの数が合っていたか確認する。
	・ジュースを飲む真似などをして遊ぶ。	
５　おわりのあいさつ	・「これで２時間目のグループ学習を終わります。」	

＜内容（工夫点など）＞

積み木ジャンケンゲームやお店屋さんを通して、遊びを取り入れて数を数える学習をしたことは、児童の意欲につながり、よかったと思う。箱や容器を使うことにより「１０のまとまりを作る」ということが意識できるようになった。材料のサイズに合う箱や容器を用意するとわかりやすいようであった。

＜良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）＞

　ただ数を数えるだけでは、あきてしまうので、より楽しい活動を考えていくことが必要である。日常の生活に活用できる力になるか、今後より大きな数の理解にどのようにつなげていけるかが課題である。